

場所 (番号)	連絡日	報告内容	写真	対応状況
①	令和7年1月19日	工事車両が通り、轍ができていた。けものみちのような道があった。恐らく人が頻繁に行き来している。イチジクの木やスイセンを見つけたことから、誰かが植えたのかもしれない。枯れた実がついていてイチジクと推測された。夏場、本当にイチジクの木が確認してみたいと思った。鉄の箱のようなものの、不法投棄があった。木曽川の水が澄んでいても綺麗だった。チラシが汚い感じがしたので、入れ替えるか、 なしでも良いのではと思う。		工事車両が通り、轍ができていたにつきましては確認し、必要に応じて採石などで補修します。 鉄の箱のようなものの不法投棄があったについては確認し回収したいと思います。 チラシ状況についても確認を行い入れ替えなども行うようにします。
②	令和7年1月28日	筏川の矢板の差し替えが着々と進んでいるようだった。何メートル程、新たに差し替えられるのか気になった。特に、天然護岸になっている場所も筏川はあるので、一部は生物に配慮し、残して頂きたい。矢板を使った方法やコンクリートは垂直でカメやカエル、カニなどが水路から遡上する際に障壁となる。天然護岸の場合はエコトーンが確保され、生き物の往来が可能となるので、保護して頂きたい。 高速道路からのゴミが目立った。人も歩く場所なので、上から捨てられると危ないと思うので対策は出来ないかと思った。筏川にゴミ回収用の浮き？と思われるものが設置されていた。複数の河川で実施してもらい、木曽川等の大規模河川へのゴミの流入 を事前に防いで頂きたい。		立田悪水路施工数量につきましては、現在の施工しているものが1 1 5 mとなります。これまでにも下流から実施しております。矢板護岸箇所は基本的に東名阪下のアンダー部分だけの施工となりますので、天然護岸になっている場所は今後も施工しません。 高速道路からのゴミが目立ったにつきましては、投棄の状況を確認させていただき、高速からの投棄であればNEXCO と調整させていただくなど検討させていただきます。 筏川にゴミ回収用の浮き？と思われるものが設置されていたにつきましては、現在矢板護岸の施工に伴い設置した物になりますので工事完了後は撤去となります